

横浜市立高舟台小学校  
令和2年度 学力向上アクションプラン

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
1. 子どもが活用可能な資質・能力を身につけていくことのできる教育活動を推進します。 2. 子どもが自分や友達のよさを認め合い、自尊感情を高めることのできる指導や支援をします。 3. ひと・まち・家庭・自然等とのかかわりを深める活動を推進し、子どものコミュニケーション力を高めま す。

### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①子どもが獲得した知識を活用できるよう、学習指導の内容や教材を学年内で共有する。 また高学年での教科担任制を継続し効果的な指導に取り組む。 ②協働的な学習の場を積極的に取り入れ、児童間の関わりを増やすことで自分の考えや 友達の考え方のよさに気付きながら、思考力を伸ばす授業づくりをする。
担当	研究部

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析

全体的には、横浜市の平均的な学力である。学力、学習意識や生活意識は学年によって多少の差があるものの、学習意欲が結果につながっていない傾向にあるのは共通している。また、自信の無さも読み取れる。学力は二極化しており、学習意識の高さを学力につなげる手立て、自信をつけていくことのできる手立てが必要である。

### (2) 教科学習の状況

- ・国語科：学年により「読む」「書く」「言語」と苦手な分野にばらつきも見られるので、学年としての取り組み方や方針を絞る必要がある。また、表現や言語活動を大切にしたい授業改善を引き続き行い、普段から自分の思いを表せるようにしたい。
- ・算数科：学年が上がるにつれ、学力差が大きくなってきている傾向にある。個に応じた発展問題、補充問題などに取り組んでいく必要がある。
- ・社会科：調べ学習や体験的な学習などを通して、知識などを具体的に理解していけるようにしたい。そして、知識を活用する力を養っていく場面を設定していく。
- ・理科：観察・実験の体験的活動を通して、結果だけを見るのではなく、科学的な見方や考え方を高めていきたい。また、学習を一般化し、生活に結び付ける習慣を身に付けていく。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

全教科において、この2年間で学力は上昇している傾向にある。特に国語や社会への意欲の高まりが見える。しかし、国語の基礎力が全体的に低いなど課題もあるので、基礎・基本を確実に定着させていく必要がある。全体として、学習に対して前向きに取り組むことができるものの、さらに深く考えたり、活動を工夫したりするなど、主体的に取り組むという点においては、苦手な傾向が続いている。

### 3 令和元年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	◇まわりに興味・ 関心をもつ ◇失敗してもくじ けない ◇自分の考えをも つ	○子どもが自ら進んであいさつすること で身近な人の存在に気付く。 ○子どもたちの経験や気づきを適切にと らえ、支援する。 ○失敗や心配を乗り越え、解決方法を子 どもが導き出していけるように、積極的に 身近な人との関わりを深めていけるよう に図る。	
2年		○学習全般を通して、「ひと・もの・こと」 との関わりの中で、自分の思いや考えを もつことのできる場面を位置づける ○失敗や成功の経験から考えたことを自 分の言葉で相手に伝えようとする意欲 を高める	
3年	◇自他の違いを受け 入れる ◇想いや考えを伝 え合う ◇発信する	○体験的な活動や意見の交流の場を多く 設定し、伝え合うことや共に学ぶことの 楽しさを実感できるようにする。 ○教科横断的に言語活動を取り入れ、実生 活に生かされる「読むこと」「書くこと」 の力を伸ばしていく。	
4年		○ペア学習やグループ学習を取り入れ、お 互いの考えを聞きあう活動を行ったり、 学校やまちの様々な人と触れ合う機会 を設けたりする。 ○子どもたちの思いや考えをみとり、それ を生かした授業づくりを行う。	
5年	◇意思決定 ◇交流し高め合う ◇自信をもつ、自 己肯定感をもつ	○自信をもてるように、声かけや、学習形 態の工夫などで、安心して発言できる環 境を作っていく ○授業の中で、グループやペアでの活動を 取り入れ、全体での学習につなげる	
6年		○授業全般において、グループで交流する 機会を多く設け、交流を通して考えが変 わった、深まったという学習場面を設定 する。 ○個々のみとりを大切にし、一人ひとりに 応じた手立てをとり、だれもができた、 わかったと実感できる学習を心掛ける ○既習の学習内容や、今までの成功体験を 新しい課題に取り組むためのヒントと なるような手立てをとり、自分の考えを もち、行動できるようにする	
個別 支援 学級	◇望ましいコミュ ニケーション ◇自他の違いを受け 入れる ◇自分の考えをも つ	○あいさつや、友達への言葉のかけ方など を日常的に指導することで、基礎的なコ ミュニケーション能力を高める ○話合い活動で色々な児童の考えをきき 合う、否定しない雰囲気作りを進めると ともに、ロールプレイで相手の立場に立 って考える機会をもうける ○視覚的な手段や、アンケート、ワークシ ートを用意し、考えを教師が言語化し整 理する	

